

総括評価

I. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	可	■ 「観光客入込み数」、「外国人観光客数」及び「体験コンテンツの体験者数」について、目標を達成している。
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	可	■ 「地域の文化に誇りを感じる住民の割合」について、目標を達成している。
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	不可	■ 提出された指標からは、日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立に係る取組状況を評価できない。
(4) その他	—	—
総合評価	可	■ 全体として概ね目標を達成している。

II. 取組内容に関する評価

		重点事項 評価結果	評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	可	不可	■ 協議会への民間組織の参画や、販売収入からの日本遺産整備への1%還元等の取組を実施しているものの、収益性を高める取組等、協議会の組織整備に向けた取組のより一層の推進が望まれる。
(2) 戦略立案	個別評価		不可	■ 構成自治体の行政計画における日本遺産の位置づけが行われているものの、戦略立案に関する適切な評価指標の設定が望まれる。
(3) 人材育成	個別評価		可	■ 大山地域通訳案内士やいせはら歴史解説アドバイザーの育成が行われているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(4) 整備	個別評価	可	不可	■ 構成文化財の受入環境整備や特別公開等、整備に係る取組が行われているが、ガイド施設等の整備や、整備に関する適切な評価指標の設定が望まれる。
(5) 観光事業化	個別評価	可	可	■ 体験型旅行商品の造成等を通じて、観光客入込数および周遊エリアの拡大について一定程度取組が行われるなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
(6) 普及啓発	個別評価		不可	■ 宿坊体験型教育旅行の提供や大山能狂言に関する親子教室などを実施しているものの、市民の日本遺産の認知度が低い水準であり、普及啓発のさらなる強化が望まれる。
(7) 情報編集・発信	個別評価		可	■ 公式ウェブサイトやSNSによる情報発信が行われているなど、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。
総合評価			可	■ 全体として、各評価項目について、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組が概ね実施できている。

	評価内容
<p>① 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けて日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 現状や課題に基づいて、「信仰と行楽」というコンセプトに沿って大山詣り体験や観光コンテンツ等の多彩な取組や、通訳案内士の活用、歴史観光案内人等の人材確保等、これまでの取組の継続・充実が計画されている点が評価できる。 ■ 多彩な取組を行っている中で、体験コンテンツの体験者数やインバウンド来訪者数は決して多くはない他、地域での認知度向上、先導師、こま技術者等の後継者不足への対策が求められるなど、これらの課題を解決するためもう一步踏み込んだ具体的な方策作りが望まれる。 ■ 首都圏に近いという地の利を生かし、日本遺産事業を通じた好循環の創出に向けたより具体的な戦略立案や数値目標の設定が望まれる。
<p>② ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 産官学連携した協議会構成および地域一体で推進するための体制が整備されている点が評価できる。 ■ ストーリー展開をより掘り下げた政策立案・事業創出の対応が望まれる。 ■ 組織の自立・自走に向け、具体的な目標金額の設定が望まれる。 ■ うまいもの遺産について、日本遺産の趣旨から乖離することがないように注意が必要である。
<p>総合評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 民間企業を含む多様な人材を活用しながら、自走化に向けた多角的な取組が整理されている点が評価できる。 ■ ビジョンの実現に向けた取組の計画として、もう一步踏み込んだ取組を検討・推進することが望まれる。
<p>評価結果</p>	<p>認定継続</p>